

メチルイソチオシアネート・D-D油剤 ディ・トラペックス油剤	取扱メーカー： バイエル 原体メーカー： バイエル、ダウ
成分： メチルイソチオシアネート〔PRTR・1種〕………20.0% 1,3-ジクロロプロベン〔PRTR・1種〕………40.0% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕………19% 〈17～21%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕………17% 〈16～19%〉	性状： 黄褐色の刺激臭のある油状液体 毒性： 劇物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】 ……………

- 土壌中の有害なセンチュウ類、病原菌、畑地一年生雑草に、優れた防除効果を示す。
- 使用後は土中でガス化し、安定した効果が得られる。
- 人体や家畜に対して刺激臭が比較的少なく、使いやすい。
- 周辺作物に対して影響が少ない。
- 土壤消毒機で効率よく使用することができる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 土壌中にガスを十分拡散させるため、耕起、整地は丁寧に行う。
- 圃場を耕起・整地した後、30cm間隔（深さ12～15cm）のチドリ状に、1穴当り所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。
- ほうれんそうに使用する場合は、注入後、ビニールなどで被覆する。
- 薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

〈処理前〉

- 生育中の作物には薬害があるので使用しない。
- 処理を行う前にアルカリ性肥料（石灰など）を施用すると薬害を起こすおそれがあるので、ガス抜き後に施用する。

〈処理時〉

- 地温が低いと効果が劣るので、できるだけ地温が15℃以上の時に使用する。
- やむを得ず10℃以下の時に使用する場合は、ガス抜きまでの期間を長く（14日以上）する。

- 注入して穴をふさいだ後、地表面をポリエチレン、ビニールなどで被覆するか、水封（1㎡当たり5～10ℓの水）するといったそう効果的である。

〈処理後〉

- 処理して7～14日後にガス抜きを行い、薬剤の抜けたことを十分確かめてから作付けする。
- 地温が10℃以下の時、重粘土質で通気の悪い時、降雨などにより土壌水分が多い時は、薬害が出やすいので、ガス抜きを丁寧に行い、注入してから作付けまでの期間をさらに約7日長くする。
- 処理した苗床や圃場に、消毒されていない土壌を混入しないよう十分注意する。
- 使用後、注入器などは錆を生じやすいので、灯油、石油などでよく洗う。
- 適用作物（根菜類、だいこん、にんじん、茶）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 花き類・観葉植物に使用する場合、本剤はフザリウム菌による病害に対し効果があり、同じ病名であっても病原菌が異なるものもあるので注意する。

【安全対策上の注意】 ……………

- 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意する。
- 投薬作業時は吸気管（活性炭入り）付き防護マスク、不浸透性手袋、保護メガネ、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。ガス抜き作業の時も同様の防護マスク、保護メガネを着用する。
- 薬液が皮膚に付着したり、揮散したガスを吸い込んだり、薬液やガスが眼に入ったりしないよう注意する。
- 本剤のガスに暴露しないように風向きなどにも十分注意する。

- 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをし、洗眼するとともに衣服を交換する。また、作業時に着用していた衣服などは他のものと分けて洗濯する。
- 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分に注意する。
- 住宅付近の使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮し、特に住宅に隣接する圃場では使用しない。

- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 甲殻類、藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- ミツバチの巣箱周辺での使用はさける。



【適用と使用法】

作物名	適用病害虫・ 雑草名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	メチルイソシアネート を含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬 の総使用回数			
しょうが	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 21 日前まで	1 回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1 回	1 回			
	根茎腐敗病 立枯病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ								
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ								
ご ぼ う	萎凋病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ	は種の 21 日前まで							
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ								
ね ぎ わ け ぎ あさつき	根腐萎凋病	40 ℓ	は種又は 植付の 14 日前まで							
	萎凋病 黒腐菌核病 白絹病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ								
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ								
	ふ き	半身萎凋病 一年生雑草						30 ℓ	植付の 30 日前まで	
		センチュウ類						20 ～ 30 ℓ		
ト マ ト ミニトマト	半身萎凋病	30 ℓ	は種又は 植付の 21 日前まで							
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	40 ℓ								
	萎凋病 根腐萎凋病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ								
	だいこん	センチュウ類						20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 14 日前まで (砂質土)	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7日後にガス抜き作業を行う。
		根こぶ病 パーティシリウム黒点病						30 ℓ		
萎黄病 一年生雑草		30 ～ 40 ℓ								
センチュウ類		20 ～ 30 ℓ								
だいこん	根こぶ病 パーティシリウム黒点病	30 ℓ								
	萎黄病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ								

作物名	適用病害虫名・ 雑草名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	メチルイソシアネート を含む農薬の総使用回数	D-Dを含む農薬 の総使用回数
す い か	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 21 日前まで	1 回	圃場を耕起・整 地した後、所定 量を深さ約 12 ～ 15 cm に注 入 し、直ちに覆土・ 鎮圧する。薬剤 処理 7 ～ 14 日 後にガス抜き作 業を行う。	1 回	1 回
	つる割病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ					
メ ロ ン	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 30 日前まで				
	つる割病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ					
ほうれんそう	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種の 30 日前まで				
	バーティシリウム萎凋病	30 ℓ					
	萎凋病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ					
	苗立枯病 (ピシウム菌)	40 ℓ					
か ぶ	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種の 21 日前まで				
	根こぶ病 バーティシリウム黒点病	30 ℓ					
	萎黄病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ					
にんにく	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 30 日前まで				
	乾腐病 紅色根腐病 黒腐菌核病 一年生雑草	30 ℓ					
らっきょう	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 21 日前まで				
	黒腐菌核病 根腐病 乾腐病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ					
たまねぎ	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 14 日前まで				
	乾腐病 一年生雑草 黒腐菌核病	30 ～ 40 ℓ 30 ℓ					
キャベツ	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の				
	バーティシリウム萎凋病	40 ℓ					
	萎黄病 根こぶ病 菌核病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ					
はくさい	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	21 日前まで				
	萎黄病 根こぶ病 黄化病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ 30 ℓ 30 ～ 40 ℓ					

作物名	適用病害虫名・ 雑草名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	メチルイソシアネート を含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬 の総使用回数	
い ち ご	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 21 日前まで	1 回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cm に注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理 7 ～ 14 日後にガス抜き作業を行う。	1 回	1 回	
	疫病	30 ℓ						
	萎凋病							
	萎黄病 炭疽病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						
き く	センチュウ類 (ハガレセンチュウを除く)	20 ～ 30 ℓ						
	半身萎凋病 萎凋病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ						
茶	白紋羽病	30 ～ 40 ℓ						
	苗根腐病	50 ℓ						
	一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ						
きゅうり	つる割病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ						
にんじん	萎凋病 しみ腐病 黒しみ病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ						
	な す	萎凋病 半枯病 半身萎凋病 一年生雑草						30 ℓ
		センチュウ類						20 ～ 30 ℓ
こんにゃく		乾腐病 根腐病 白絹病 一年生雑草						30 ～ 40 ℓ
		センチュウ類						20 ～ 30 ℓ
	やまのいも	褐色腐敗病 一年生雑草						30 ～ 40 ℓ
		センチュウ類						20 ～ 30 ℓ
カーネーション	萎凋病 萎凋細菌病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						
	つつじ類	イシユクセンチュウ 一年生雑草						30 ℓ
た ば こ	センチュウ類 黒根病	20 ～ 30 ℓ						は種又は 植付の 21 日前まで
	立枯病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						
	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ						
レ タ ス 非結球レタス	バーティシリウム萎凋病	30 ℓ						
	根腐病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ						

作物名	適用病害虫名・ 雑草名	10 a 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネート を含む農薬の総使用回数	D-D を含む農薬 の総使用回数
花き類・ 観葉植物 (カーネーション、 きくを除く)	センチュウ類	20 ～ 30 ℓ	は種又は 植付の 21 日前まで	1 回	圃場を耕起・整 地した後、所定 量を深さ約12 ～15cm に注入 し、直ちに覆土・ 鎮圧する。薬剤 処理 7 ～14 日 後にガス抜き作 業を行う。	1 回	1 回
	半身萎凋病	30 ℓ					
	萎凋病(フザリウム菌) 萎黄病(フザリウム菌) 球根腐敗病(フザリウム菌) 苗立枯病(フザリウム菌) 尻腐病(フザリウム菌) 腐敗病 乾腐病 萎縮病 一年生雑草	30 ～ 40 ℓ					